

初心者でも簡単にニホンジカを捕獲できる くくりわな の普及

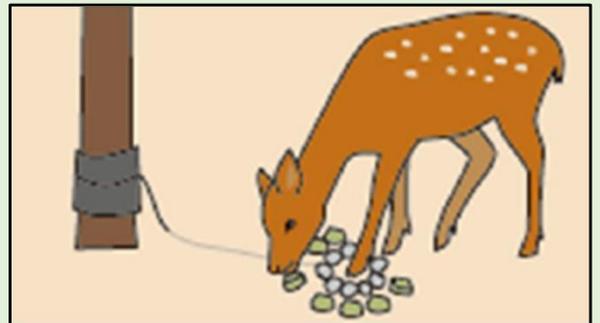
1. ねらい

経験や技術に乏しい方でも、簡単に高確率でニホンジカを捕獲できる「小林式誘引捕獲法」を普及し、深刻化するニホンジカによる林業等への被害の低減に取り組んでいます。

2. 概要

くくりわなによる捕獲は、シカが往来する「けものみち」を見極めてわなを設置するなど、経験と技術が求められます。

そのため、林野庁職員が開発した、けものみち以外でもシカの習性を利用して高い捕獲効率が期待できる「小林式誘引捕獲法」を積極的に普及しています。



石をよけて歩き、餌を食べるときに前足を出すシカの習性を利用し、わなの周りに石を設置して餌で誘引

【設置方法のポイント】



1 乾燥圧縮した牧草などで餌付けし、餌がよく食べられている場所に設置



2 地面から指2本ほどの高さになるように、わなの周りに石を埋め込む



3 わなの周りに石を設置した様子



4 踏み板とバネの上にサラサラの土をかけ、わなの金具等を隠す



5 石の周囲に餌を撒く（見回りの際に必要に応じて餌の補充を行う）



6 石が固定されているか、わなの金属部分が見えていないか、踏み板の上に大きな枝葉や餌等が乗っていないか確認し完成

3. 成果

令和5年度に、管内各地で開催した現地検討会には、国有林の職員をはじめ、県や市町村の職員、地元猟友会など、延べ約200名が参加しました。

そのうち、南信森林管理署での現地検討会では、参加者が29基のくくりわなを設置し、翌朝に4頭も捕獲できました。

※ 奈良県内の実証試験では、従来と比較して、捕獲効率が5倍に増加した事例があります。

4. 問い合わせ先

技術普及課 電話026-236-2624